

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年10月7日(2010.10.7)

【公開番号】特開2009-55180(P2009-55180A)

【公開日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2007-218307(P2007-218307)

【国際特許分類】

H 04 N 7/18 (2006.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

G 08 B 13/196 (2006.01)

G 08 B 25/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/18 E

H 04 N 5/225 D

H 04 N 13/196 C

G 08 B 25/00 5 1 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数台の監視カメラにより監視対象の監視を行う監視カメラシステムであって、

いずれか一台の前記監視カメラを操作する操作装置と、

複数台の前記監視カメラ相互の位置関係を示す位置関係情報とそれぞれの監視カメラの旋回の向きや旋回量を示すプリセット旋回情報とが登録されているプリセット情報テーブルと、前記監視カメラによって監視対象が撮像されたかどうかを判別する画像認識判定処理部と、監視カメラ旋回制御部を有する制御装置とを備え、

前記画像認識判定処理部が、監視対象が少なくとも前記操作装置によって操作される前記監視カメラの死角に入ったことを認識すると、前記監視カメラ旋回制御部が、前記プリセット情報テーブルの位置関係情報とプリセット旋回情報とに基づき、他の監視カメラの旋回制御を行い、前記監視対象を捉える方向に旋回させることを特徴とする監視カメラシステム。

【請求項2】

請求項1記載の監視カメラシステムにおいて、前記制御装置は、ワイヤ制御部を備え、前記ワイヤ制御部が、前記操作装置から監視カメラに対してワイヤ装置を駆動させる操作があると、他の監視カメラのワイヤ装置を駆動させることを特徴とする監視カメラシステム。

。

【請求項3】

請求項1または2記載の監視カメラシステムにおいて、前記制御装置は、照明制御部を備え、前記照明制御部が、前記操作装置から監視カメラに対して照明装置を駆動させる操作があると、他の監視カメラの照明装置を駆動させることを特徴とする監視カメラシステム。

。